

平成30年度版

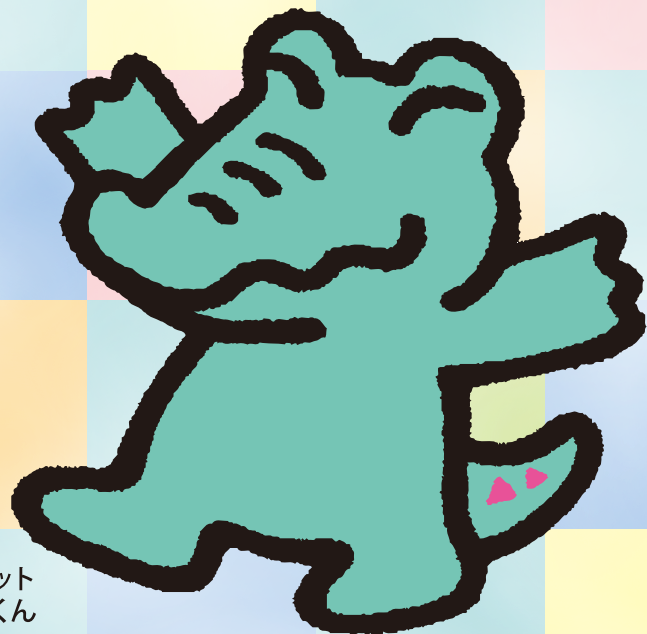


TSURUMI
発見つるみ!

～データで見る鶴見区～



Tsurumi Ward
Since 1927



鶴見区のマスコット
ワックん

● はじめに

区民の皆様には、日頃より、区政の推進に御理解、御協力をいただきましてありがとうございます。

鶴見は、江戸時代のころには、鶴見川の川筋や旧東海道を多くの人々が往来するなど、古くから賑わいのあるまちです。昭和2年には、横浜市で最初の5区の1つとして区制施行され、日本の高度経済成長を支えてきた臨海部の産業とともに、就業者のための住宅地として、また、居住者・就業者の生活や利便性を支える商業地として、『商・住・工』の機能それぞれが密接に関連し、一体となって発展してきました。

鶴見区の人口は、現在、人口約 29 万人（市内 18 区中第3位）、世帯数約 14 万世帯（市内 18 区中第2位）にまで達しました。横浜市が発表した将来推計人口によると、市全体の人口ピークが 2019 年なのに対し、鶴見区の人口は 2042 年まで伸び続け、市内 18 区の中で最後まで人口の増加が続くと見込まれています。

今後も、区の運営方針に掲げました「笑顔と元気の輪が広がるまち『つるみ』」を目標に、「安心」「ぬくもり」「活力」を実感できるまちづくりを進めてまいります。

この「発見つるみ!データで見る鶴見区」は、人口や産業をはじめ、生活に関連する様々なデータをもとに、鶴見区の特徴を分かりやすくまとめたものです。これまでの鶴見、そして、これからの鶴見を考えていただく際の資料として、御活用いただければ幸いです。

最後に、発刊にあたり、貴重な資料を御提供いただきました関係諸機関をはじめ、御協力いただきました皆様に心から御礼申し上げます。

平成 30 年 12 月 鶴見区長 森 健二



目次

1 鶴見区のプロフィール	
1 区の歩みと現状・誕生・地勢	2
2 鶴見区的主要指標	3
2 人口	
1 人口の動向	4
2 年齢別の人口	5
3 外国人住民	7
4 就業状況・労働力人口・労働力率	8
5 流出人口・流入人口・昼夜間人口	8
3 産業	
1 事業所	9
2 商業	10
3 工業	11
4 暮らしと環境	
1 住宅・ 2 消防	12
3 交通・ 4 犯罪	13
5 環境	14
6 区民フェスティバル	15
7 市税・ 8 戸籍	16
9 生活保護・ 10 子育て	17
11 健康・ 12 選挙	18
コラム	19
略年表	20
つるみマップ	

～ご利用にあたって～

構成比、総数の合計については、端数を四捨五入しているため、内訳計と一致しない場合があります。



1 区の歩みと現状・誕生・地勢



鶴見区シンボルマーク
平成3年2月14日制定

区制施行：昭和2年10月1日
〒230-0051
横浜市鶴見区鶴見中央三丁目
20番1号
TEL 045-510-1818 (代表)
FAX 045-510-1889

面積：32.38k㎡ (平成30年10月1日現在)
人口：290,860人 (同上)
世帯数：137,834世帯 (同上)
区民の花：サルビア (平成3年11月制定)
区の木：サルスベリ (平成9年10月制定)
マスコット：ワックン (昭和63年1月制定)

● 区の歩みと現状

鶴見区は市の北東部に位置し、昭和2年10月1日、横浜市の区制施行により誕生しました。「鶴見」の名は鎌倉時代の史料からも現れており、源頼朝がこの地で鶴を放ったという伝説からその名がついたという説もありますが、「ツル」は「鶴」とは関係なく水路や河川の周辺の地を、「ミ」は「まわり、めぐり」を意味する語で、「ツルミ」は蛇行している鶴見川の地形を表しているという説もあります。

鶴見は、江戸時代の頃から鶴見川の水運や東海道を往来する人によって、川筋や街道筋が賑わっていました。漁業が盛んだった沿岸部では、明治の頃から埋め立てが進み、京浜工業地帯の中核として日本の重化学工業を支えてきました。戦後は、高度経済成長とともに、商工業の集積と人口増加が進みました。

現在の鶴見区は、約29万人の人口を擁し、住宅地が連なる丘陵部「丘のまち」、鶴見川に沿った「川のまち」、臨海部の「海のまち」で構成されています。

「丘のまち」には、県立三ツ池公園や獅子ヶ谷市民の森などの豊かな自然があり、四季折々の美しい景色を楽しむことができます。また、横浜市指定文化財の横溝屋敷や、横浜市認定歴史的建造物の旧澤野家長屋門(通称「馬場の赤門」)などが保全・活用され、歴史を活かしたまちづくりが行われています。

鶴見川を中心とした「川のまち」では、工場から住宅などへの利用転換が進み、工業、商業、住宅が混在するまちとなっています。外国人が多く住む国際色豊かな地域でもあり、鶴見川は、多くの区民が散歩などで親しむ鶴見区のシンボルとなっています。

臨海部の「海のまち」では、生命科学の世界的な研究施設「理化学研究所横浜キャンパス」や産学連携を推進する「横浜市産学共同研究センター」などが末広地区に整備され、国際的な一大研究拠点＝横浜サイエンスフロンティアとしての再編整備が進んでいます。



● 誕生

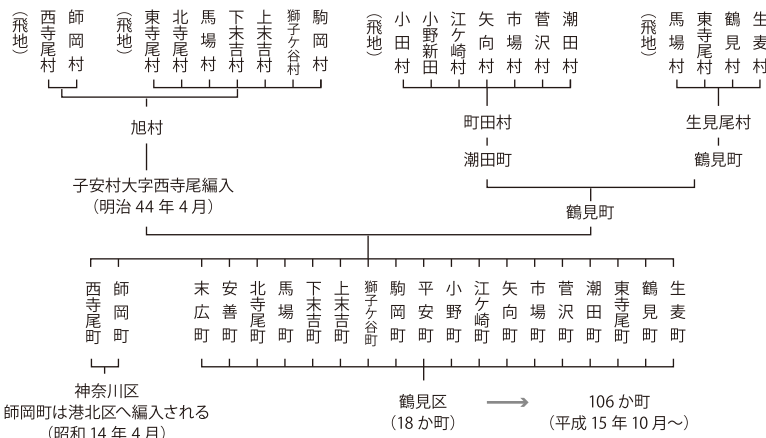
資料：「鶴見区史」鶴見区史刊行委員会・「横浜の町名」横浜市民局

神奈川県橘樹郡
(明治22年) 町村分合改称令により各村合併

(大正14年4月) 町制施行 1か町1か村になる

神奈川県横浜市
(昭和2年4月) 横浜市に編入

(昭和2年10月) 区制施行



● 地勢

- 極東：扇島
- 極西：上の宮二丁目
- 極南：大黒ふ頭
- 極北：矢向六丁目
- 最高地：馬場四丁目 (海面からの高度47.2m)

資料：「鶴見区史」鶴見区史刊行委員会・「横浜の町名」横浜市民局

2 鶴見区の主な指標

区 分	鶴見区	横浜市	18 区中順位	基準日
人 口	290,860 人	3,740,172 人	3 位	H30.10.1
世帯数	137,834 世帯	1,690,932 世帯	2 位	H30.10.1
1世帯あたり人員	2.11 人	2.21 人	13 位	H30.10.1
面 積	32.38 km ²	435.43 km ²	4 位	H30.10.1
人口密度	8,983 人 / km ²	8,590 人 / km ²	7 位	H30.10.1
平均年齢	43.78 歳	45.54 歳	16 位	H30.1.1
出生数	2,561 人	28,611 人	2 位	H29年中
死亡数	2,407 人	32,684 人	3 位	H29年中
自然増加数	154 人	-4,073 人	4 位	H29年中
社会増加数	1,361 人	6,061 人	3 位	H29年中
老年人口比率 (65 歳以上)	21.1%	24.3%	15 位	H30.1.1
年少人口比率 (15 歳未満)	13.0%	12.3%	5 位	H30.1.1
外国人人口	12,203 人	92,139 人	2 位	H30.3.31
事業所数 <small>(H28 経済センサス活動調査) (事業内容等不詳も含む)</small>	9,393	124,866	4 位	H28.6.1
事業所従業者数 <small>(H28 経済センサス活動調査)</small>	107,135 人	1,475,974 人	5 位	H28.6.1
商業事業所数 <small>(H26 商業統計調査)</small>	1,326	18,925	5 位	H26.7.1
商業従業者数 <small>(H26 商業統計調査)</small>	11,872 人	203,816 人	8 位	H26.7.1
工業事業所数 <small>(H29 工業統計調査)</small>	345	2,345	3 位	H29.6.1
工業従業者数 <small>(H29 工業統計調査)</small>	15,520 人	88,058 人	1 位	H29.6.1

※世帯数と人口は、平成 27 年国勢調査結果（確定値）を基礎とし、住民基本台帳法及び戸籍法の定める届出等の増減を加減して推計しています。

※人口比率は年齢不詳を除いた総人口で算出しています。

※事業所数及び事業所従業者数は民営事業所の数字です。

※工業事業者数及び工業従業者数は従業者 4 人以上の事業所を対象としています。

※順位は数値の大きいものから並べた際の順位です。



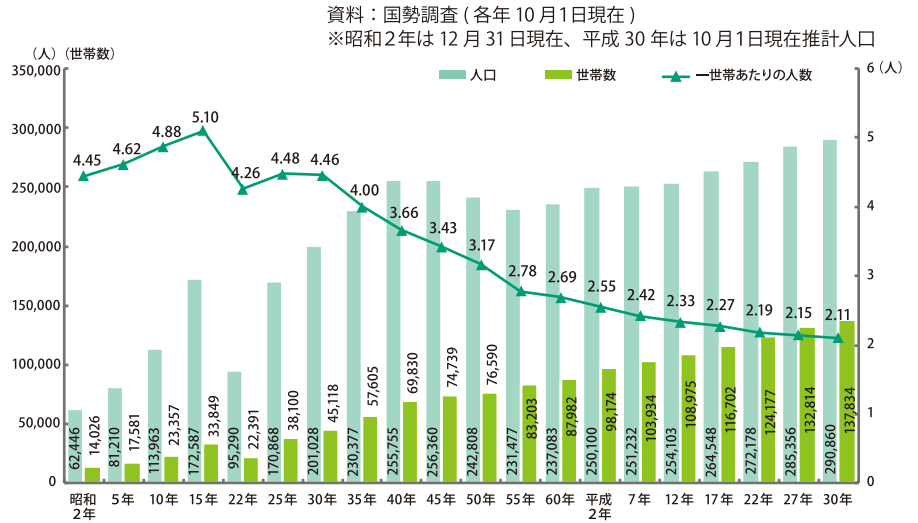


1 人口の動向

● 人口及び世帯数の推移

戦後、増え続けていた人口は昭和43年7月の260,777人をピークに一時減少し、昭和56年4月に229,945人と落ち込みましたが、その後は増加が続いています。一方、世帯数は年々増加しています。

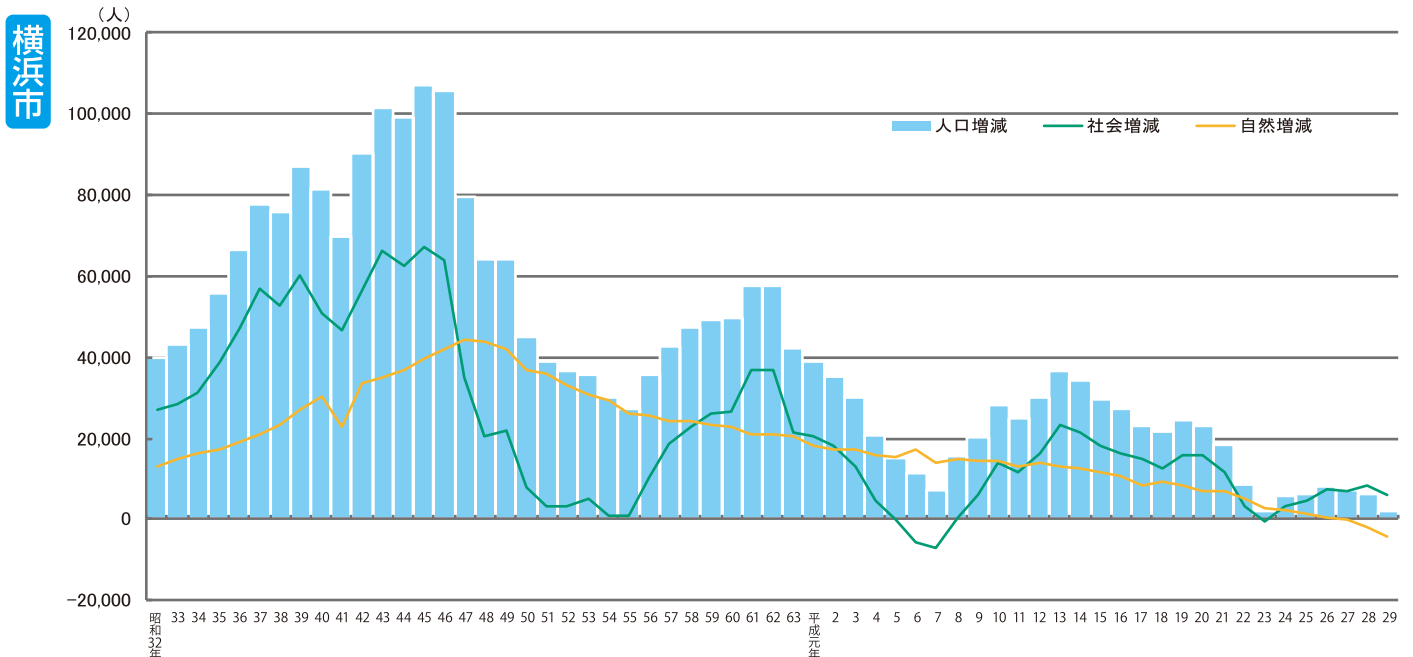
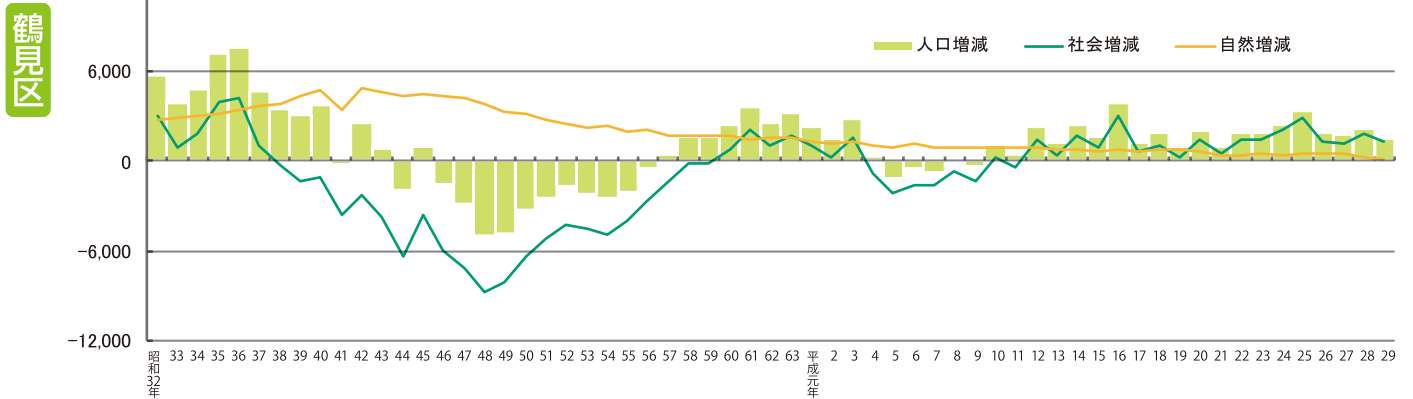
平成30年10月1日現在、鶴見区の人口は290,860人であり、世帯数は137,834世帯となっています。



● 人口増減・社会増減・自然増減の推移

鶴見区の人口は、増減を繰り返しながら推移しています。昭和40年代後半に、転出者数が転入者数を上回ったこと（社会減）により、人口が大きく減少した時期がありました。その後、昭和50年代後半から人口が増加したものの、いわゆるバブル期を経て再び社会減の傾向が続きましたが、平成12年から社会増に転じています。また、自然増減についても、今なお増加が続いています。

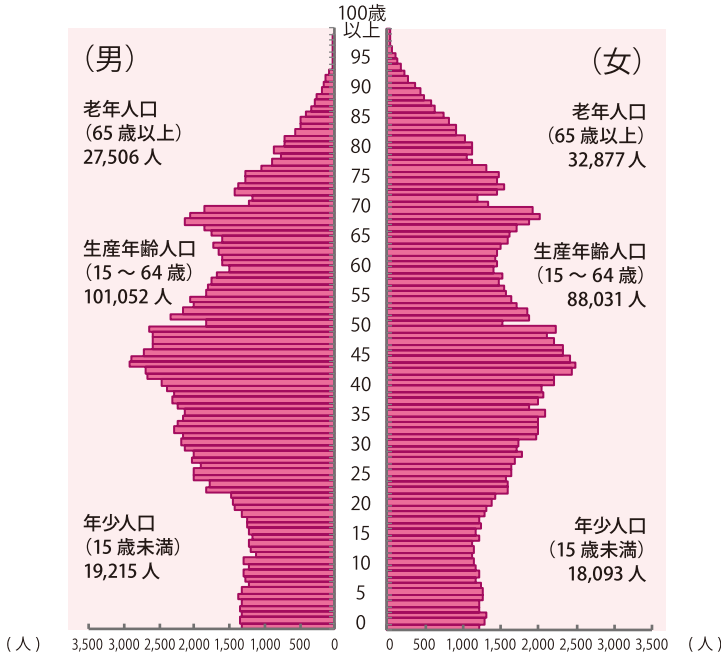
資料：横浜の人口 人口動態と年齢別人口



2 年齢別の人口

● 人口ピラミッド

鶴見区人口ピラミッド (H30.1.1現在)

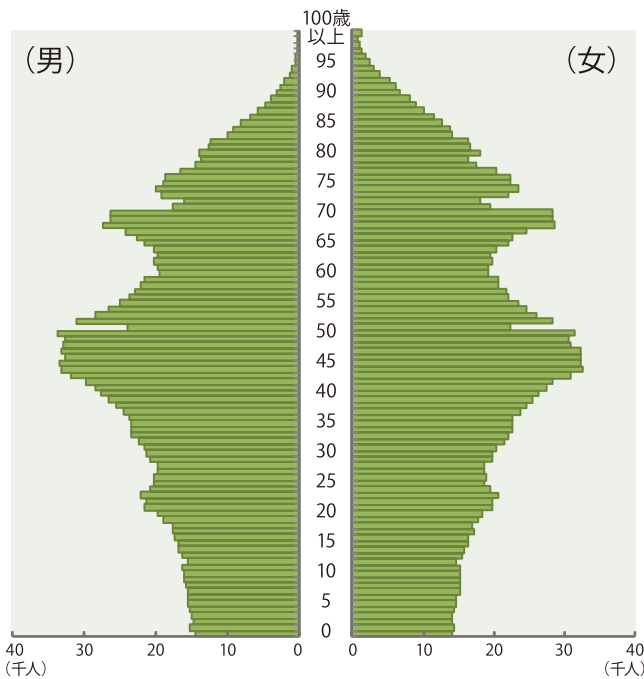


鶴見区の人口ピラミッドには大きく2つの特徴があります。

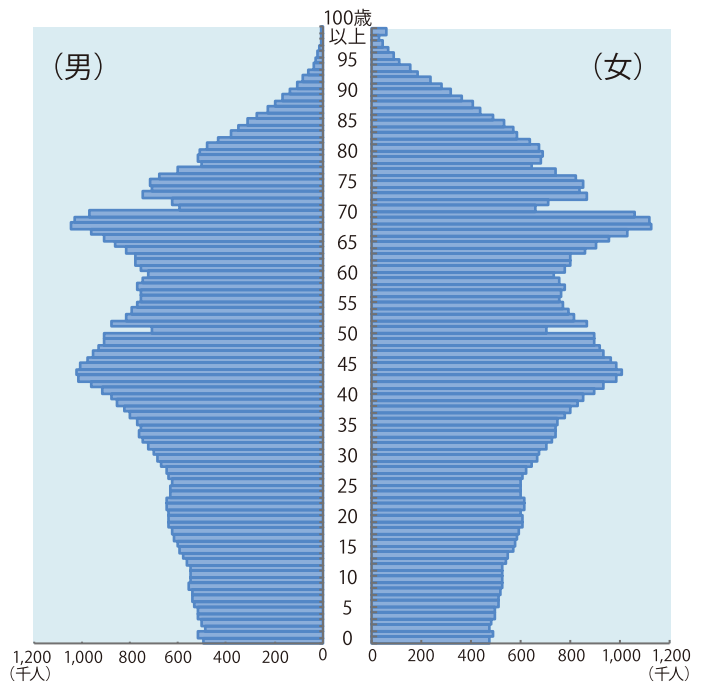
- ① 40歳代の第二次ベビーブーム時期の人口が、60歳代後半の第一次ベビーブーム時期の人口より大きな山を描いています。
- ② 0～10歳までの人口比率が高く、ピラミッドの裾野が全国及び横浜市のピラミッドに比べて広がっています。

資料：横浜の人口 年齢（各歳・5歳階級）別男女別人口
総務省統計局 年齢（各歳），男女別人口及び人口性比
総人口，日本人人口

横浜市人口ピラミッド (H30.1.1現在)



全国人口ピラミッド (H29.10.1現在)



● 人口増減・社会増減・自然増減の数 (平成29年中)

資料：横浜の人口 人口動態と年齢別人口

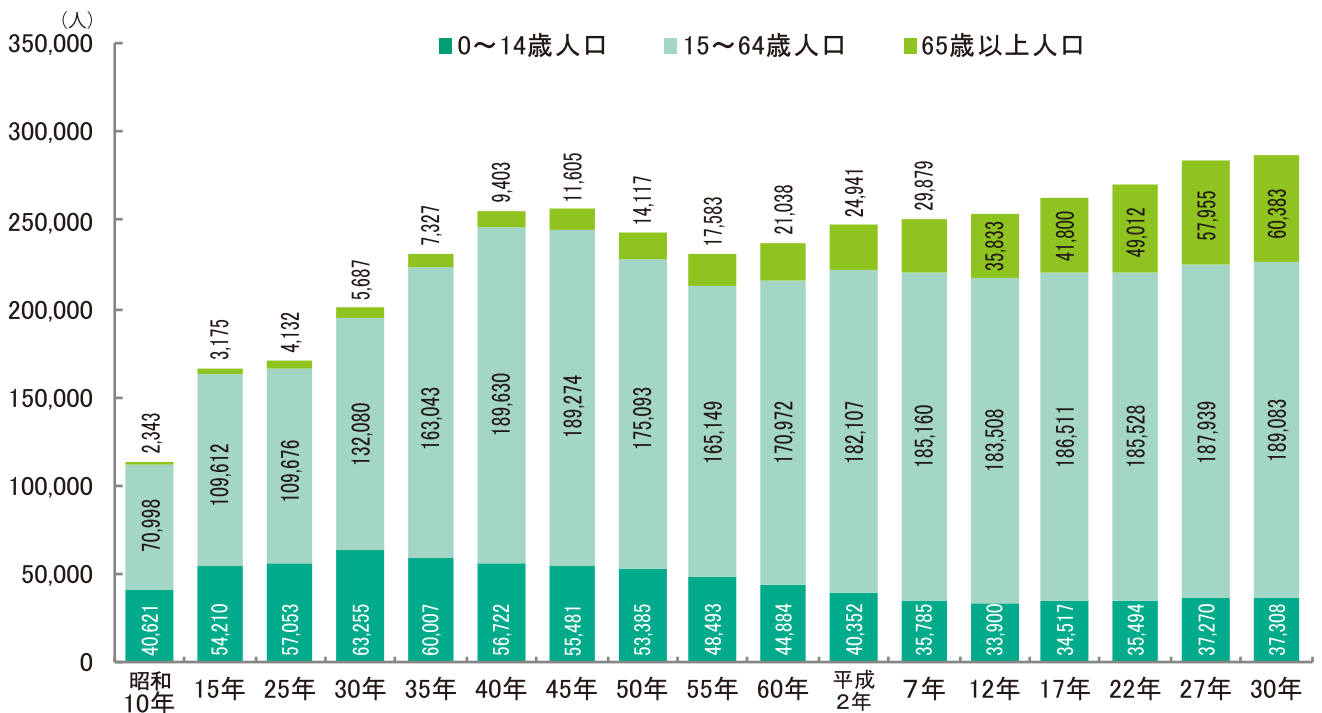
	人口増減	社会増減	自然増減
鶴見区	1,515人	1,361人	154人
横浜市	1,988人	6,061人	-4,073人

● 行政区別平均年齢 (H30.1.1現在)

資料：横浜の人口 男女、行政区、年齢3区分別人口、年齢構成指数及び平均年齢

平均年齢が低い区	順位	平均年齢が高い区
都筑区 (41.75歳)	1位	栄区 (48.14歳)
港北区 (43.25歳)	2位	旭区 (47.95歳)
鶴見区 (43.78歳)	3位	港南区 (47.55歳)
青葉区 (44.06歳)	4位	金沢区 (47.42歳)

● 年齢3区分別人口の推移



資料：国勢調査（各年10月1日現在） ※平成30年は1月1日現在推計人口

年齢3区分別人口をみると、老年人口の増加が進んでおり、平成12年に15歳未満の年少人口と、65歳以上の老年人口の数が逆転したあと、近年その差が広がる傾向にあります。また、15歳未満の年少人口は、昭和30年以降減少していましたが、平成12年以降は、微増しています。



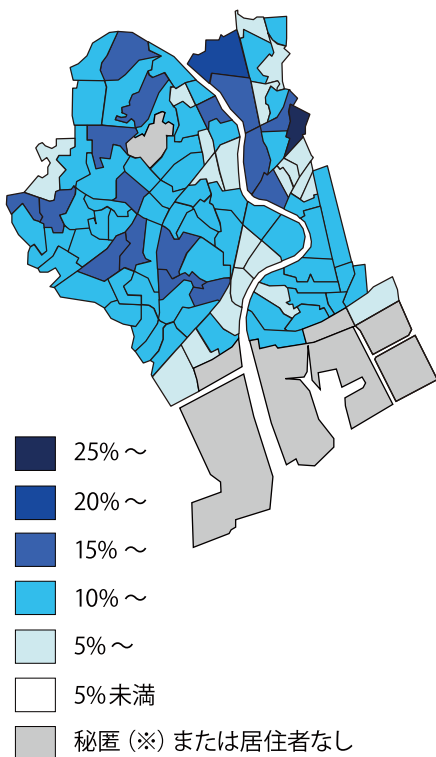
65歳以上の老年人口の割合が年々増えているね。



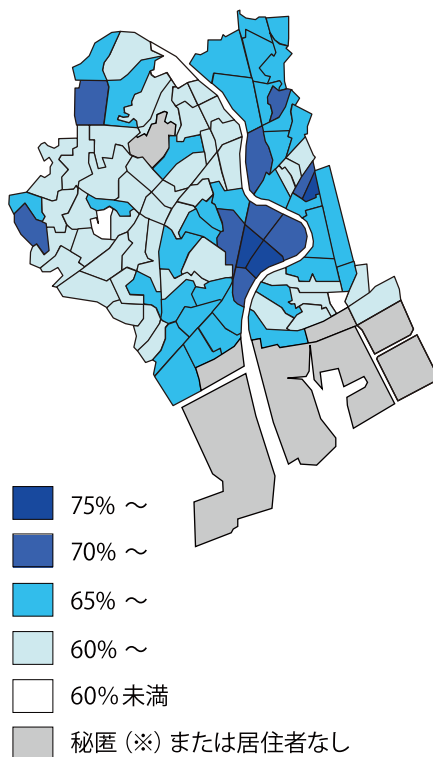
地図で見る鶴見 ～年少・生産年齢・老年の各人口比率～

資料：住民基本台帳（平成30年3月31日現在）※大黒ふ頭、扇島は省略しています

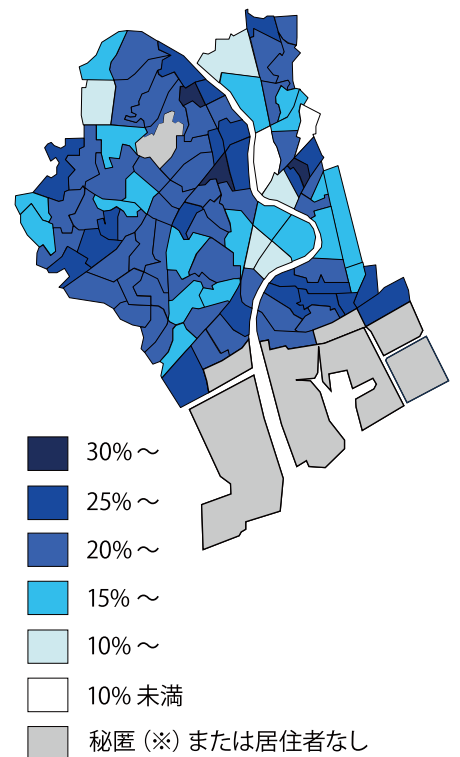
年少人口（15歳未満）人口比率



生産年齢人口（15～64歳）人口比率



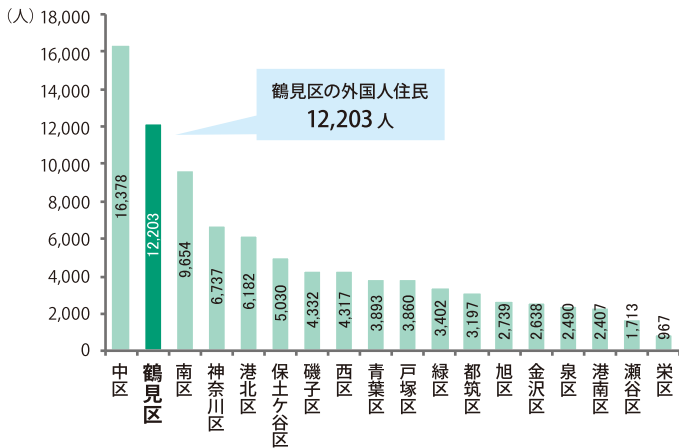
老年人口（65歳以上）人口比率



（※）データを示すことで個人が特定される恐れのあるものは「秘匿」としています。

3 外国人住民

● 区別外国人住民



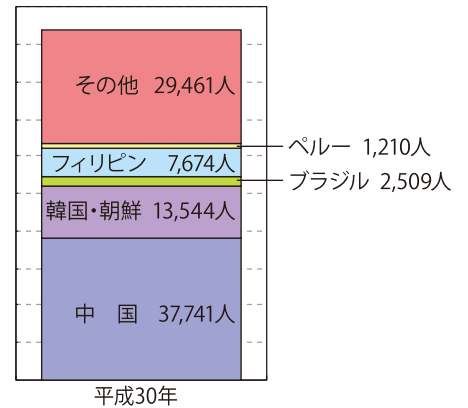
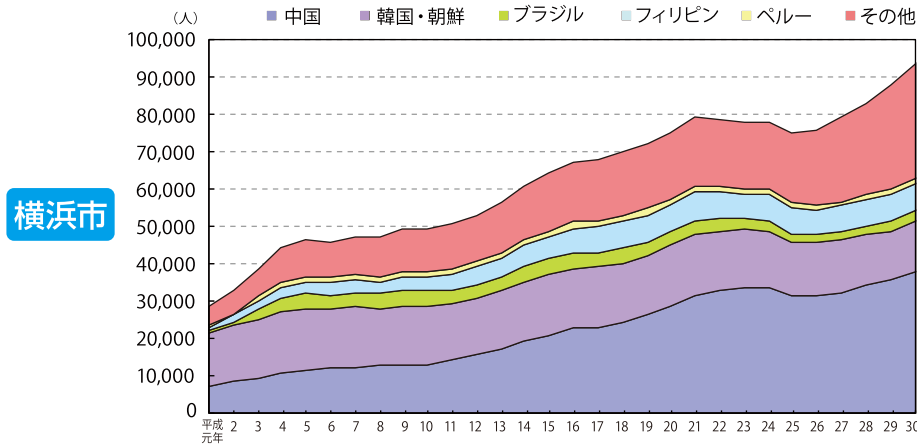
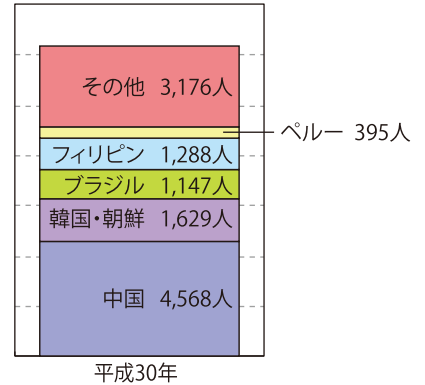
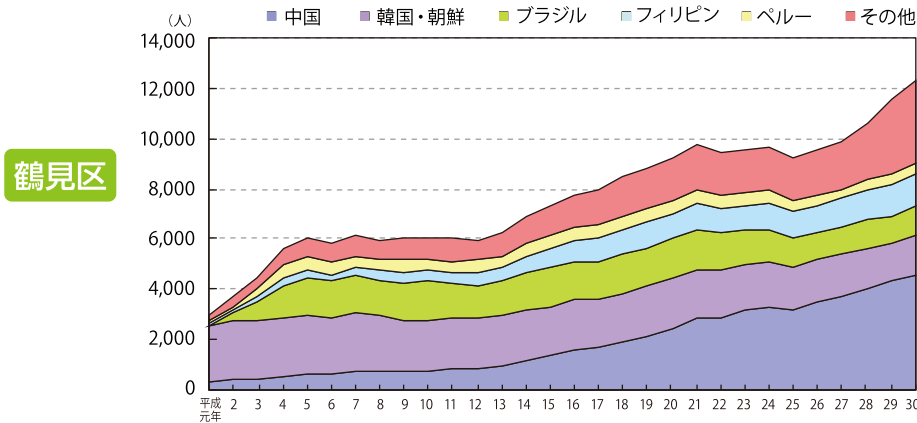
資料：住民基本台帳 外国人人口 (平成30年3月31日現在)

平成30年3月31日現在の鶴見区の外国人住民数は12,203人です。(前年より682人増加)これは中区に続いて市内2番目の多さとなっています。国籍別に見ると、中国、韓国・朝鮮、フィリピン、ブラジルの順に多くなっています。横浜市全体と比べると、鶴見区はブラジルやペルー国籍の構成比が大きいです。

鶴見区は、外国人児童数(※)が355人で、南区に次いで二番目に多いよ！
 ※ 市立小学校に通う外国人児童の数
 資料：横浜市教育委員会「市立学校現況」(平成29年5月1日現在)



● 国籍別外国人住民数の推移



資料：住民基本台帳 外国人人口 (各年3月末現在)

Have a break!

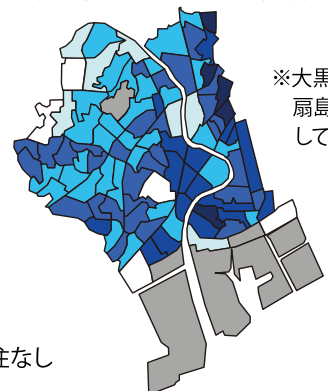
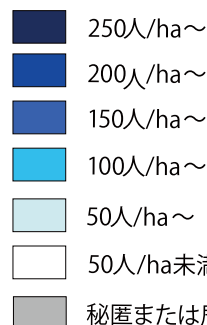


地図で見る鶴見 ～人口密度～

鶴見区内で人口密度の高い町は、矢向五丁目、尻手一丁目・三丁目、本町通、市場上町などです。

また、鶴見駅周辺と、川崎市との市境の人口密度が高い傾向にあります。

資料：住民基本台帳 (平成30年3月31日現在)

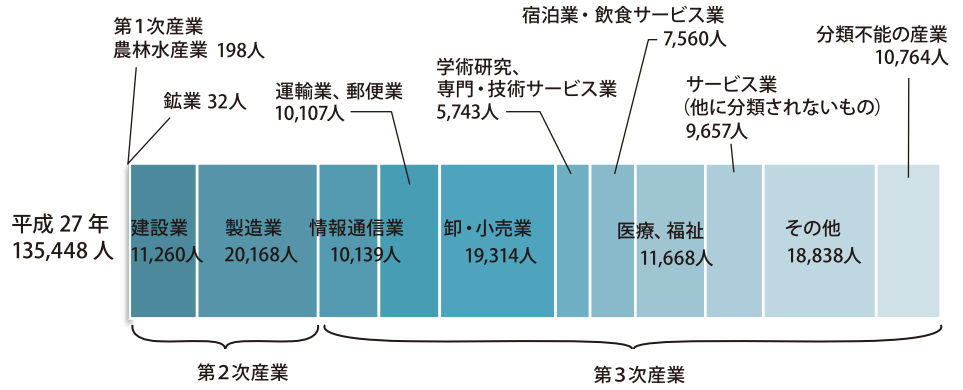


※大黒ふ頭・扇島は省略しています。

4 就業状況・労働力人口・労働力率

● 就業状況

鶴見区の実業者は、第3次産業、第2次産業、第1次産業の順に多く、産業大分類別にみると、製造業の実業者数が20,168人と最も多くなっています。



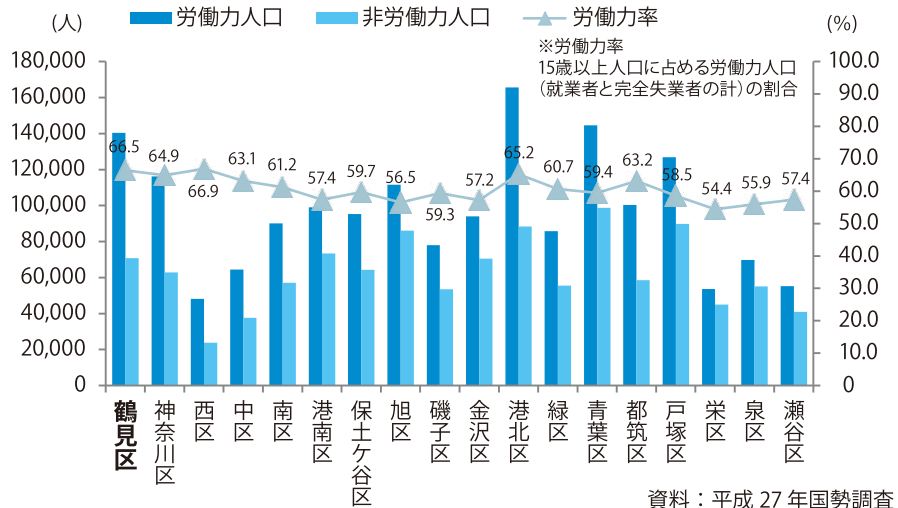
● 労働力人口・労働力率

鶴見区の実業人口は、140,346人で、行政区別にみると、港北区、青葉区に次いで、3番目の多さです。

鶴見区の実業率は66.5%で、18区中2位となっています。



18区の中で実業率が一番高いのは、西区(66.9%)。鶴見区との差は、0.4ポイントだよ!

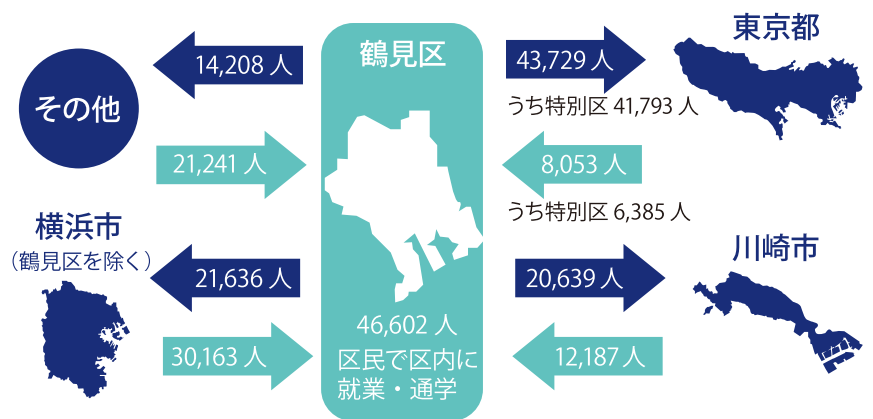


資料：平成27年国勢調査

5 流出人口・流入人口・昼夜間人口

● 流出人口・流入人口

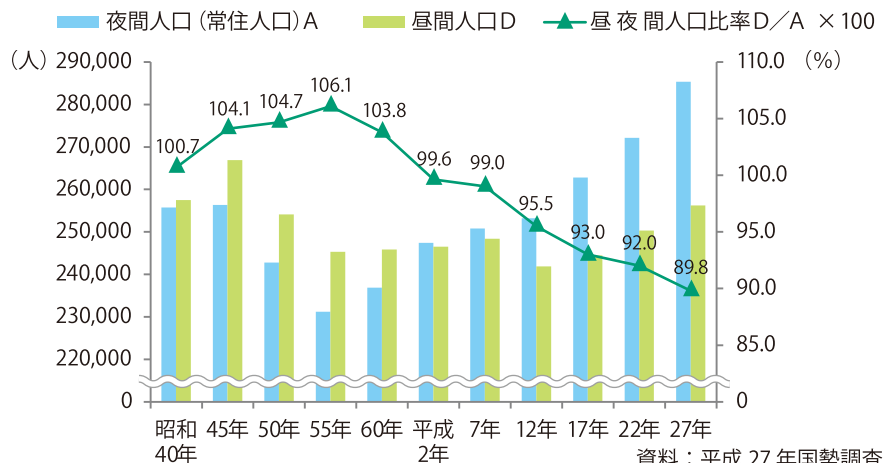
鶴見区に常住(居住)する15歳以上の実業者及び通学者数は146,814人で、そのうち、区内で就業・通学する者は46,602人、自市内他区へ就業・通学する者は21,636人となっています。また、横浜市以外では、鶴見区からは東京都への流出が43,729人と最も多くなっています。



● 昼夜間人口

平成27年の鶴見区の昼間人口は256,228人、夜間人口は285,356人であり、平成2年以降、夜間人口が昼間人口を上回っています。

また、昼夜間人口比率は89.8%で昭和55年の106.1%をピークに減少を続けています。



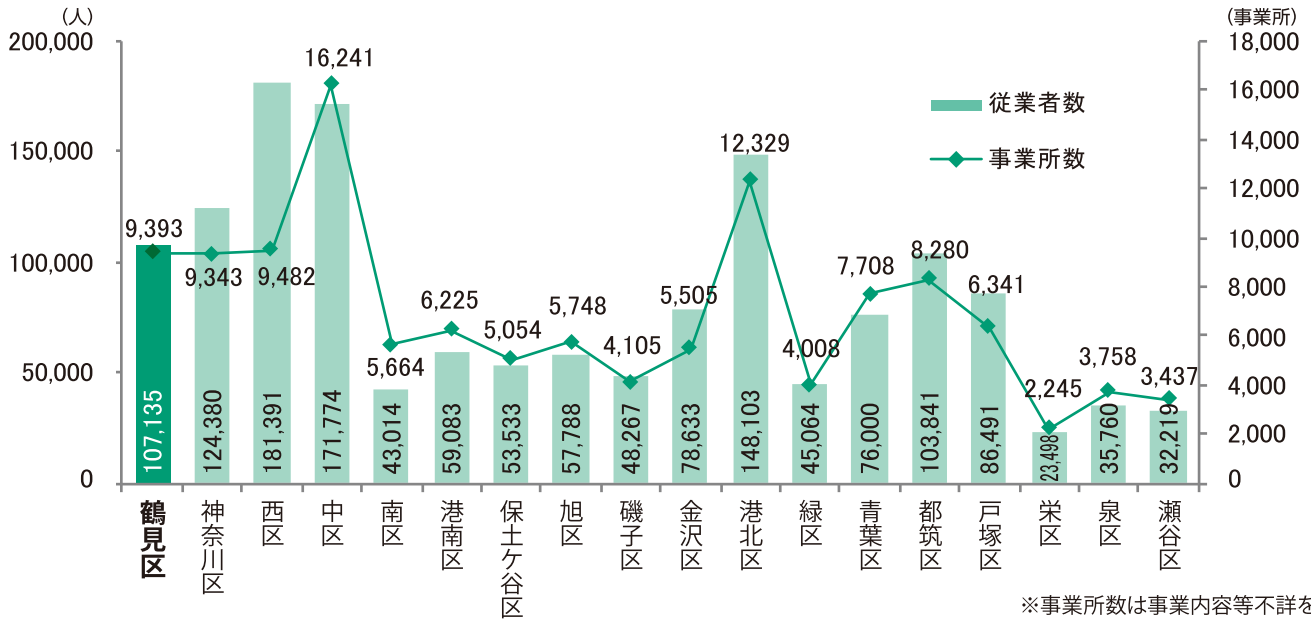
資料：平成27年国勢調査



1 事業所

● 区別事業所数・従業者数

平成 28 年の鶴見区の仕事所数は、9,393 仕事所となっており、18 区の中では、中区（16,241 仕事所）、港北区（12,329 仕事所）、西区（9,482 仕事所）に続き、4 番目の多さとなっています。従業者数は、107,135 人で、西区、中区、港北区、神奈川区に続いて5番目に多くなっています。



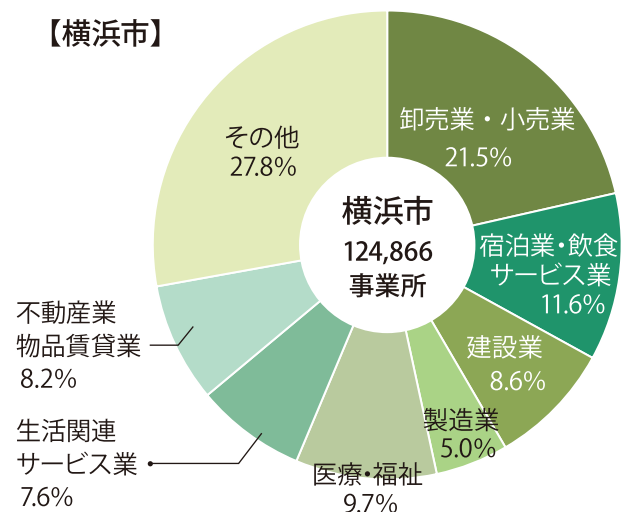
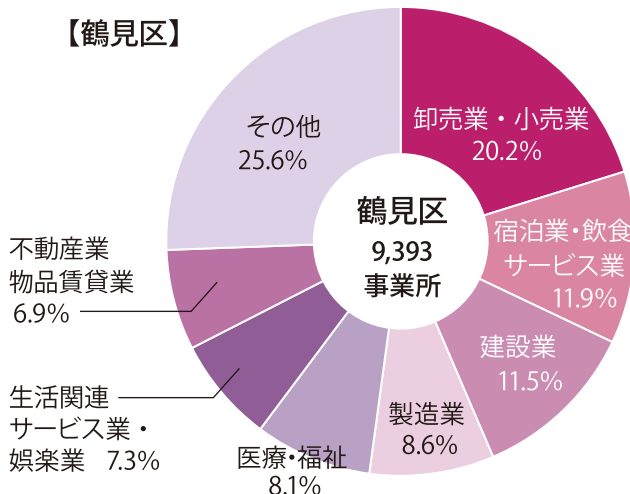
※事業所数は事業内容等不詳を含む
資料：平成 28 年経済センサス-活動調査-

● 事業所数の産業大分類別構成比（鶴見区・横浜市）

鶴見区の仕事所数の構成比は、大きい順に、卸売業・小売業、宿泊業・飲食サービス業、建設業、製造業となっています。

横浜市は、製造業が 6,271 仕事所で、構成比では 5.0%であるのに対し、鶴見区の製造業は 807 仕事所で 8.6%を占めています。横浜市の製造業の仕事所の約8分の1が鶴見区にあり、鶴見区は製造業の割合が高いことがわかります。

※事業所数は事業内容等不詳を含む
資料：平成 28 年経済センサス-活動調査-



2 商業

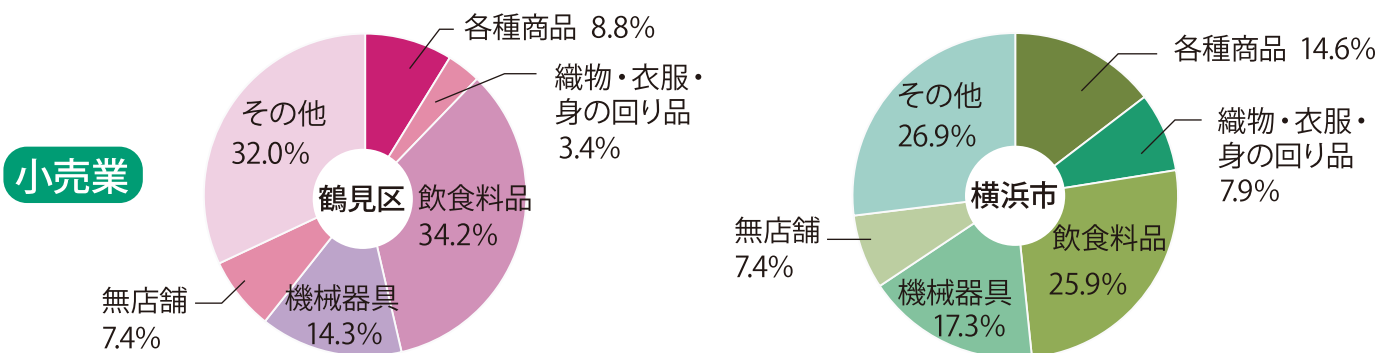
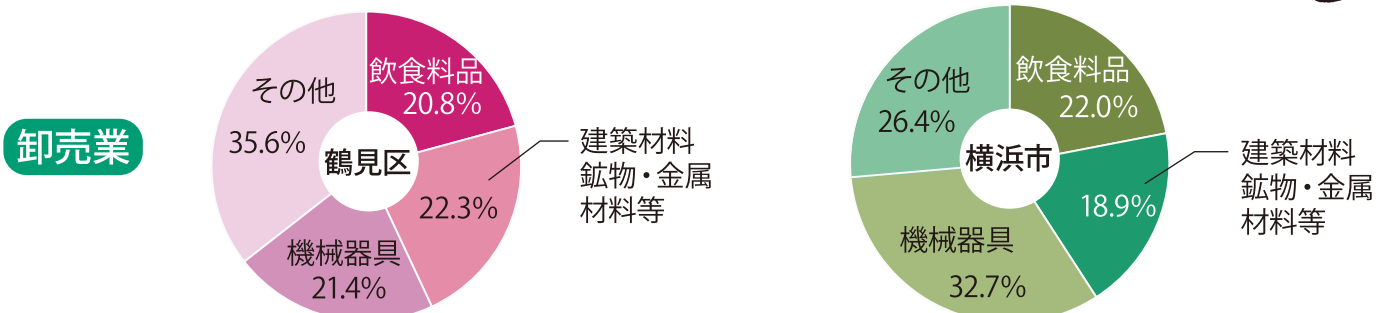
横浜市と鶴見区の年間販売額構成比を比較してみると、鶴見区は、卸売業では「建築材料・鉱物・金属材料等」の割合が高くなっています。また、小売業では「飲食料品」の割合が高くなっています。

年間商品販売額は約 3,720 億円であり、18 区中 8 位となっています。

鶴見区の商店数は、中区、港北区、西区、神奈川区について 18 区中 5 番目の多さとなっています。



● 産業中分類別年間商品販売額構成比



資料：平成 26 年商業統計調査

● 区別商店数・従業員数・年間商品販売額

区別	商店数			従業者数 (人)	年間商品 販売額 (百万円)	年間商品 販売額順 位
	総数	卸売業	小売業			
横浜市	18,925	4,708	14,217	203,816	8,579,630	
鶴見区	1,326	324	1,002	11,872	372,072	8位
神奈川区	1,386	510	876	16,249	991,192	3位
西区	1,653	364	1,289	19,893	1,399,605	1位
中区	1,971	552	1,419	17,045	957,444	4位
南区	969	228	741	6,638	139,302	17位
港南区	957	148	809	10,956	263,212	11位
保土ヶ谷区	785	168	617	6,820	296,236	10位
旭区	863	159	704	8,709	222,402	12位
磯子区	634	129	505	6,265	170,584	15位
金沢区	954	298	656	10,323	407,496	7位
港北区	1,741	555	1,186	21,823	1,300,907	2位
緑区	630	138	492	7,171	185,767	13位
青葉区	1,203	200	1,003	12,880	346,823	9位
都筑区	1,287	390	897	17,536	655,272	5位
戸塚区	1,073	202	871	14,265	471,320	6位
栄区	362	88	274	3,424	81,302	18位
泉区	535	103	432	6,191	144,742	16位
瀬谷区	596	152	444	5,756	173,955	14位

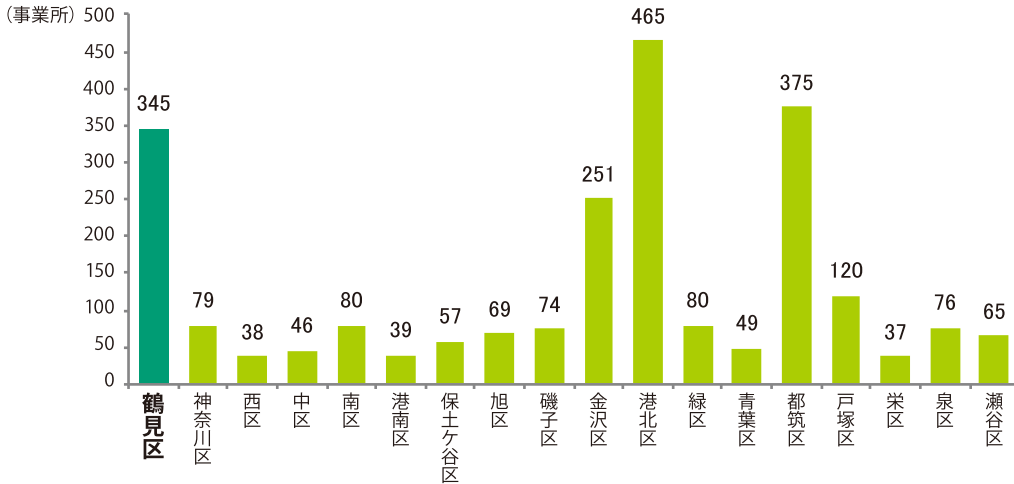
資料：平成 26 年商業統計調査

3 工業

鶴見区は、京浜工業地帯の中核として日本の重工業を支えてきました。事業所数については、昭和 48 年の 1,096 事業所をピークに、平成 29 年には 345 事業所とピーク時の約3割に減少し、また従業員数についても、60,000 人を上回っていた昭和 30 年代後半と比べて、約4分の1となりましたが、現在でも、横浜市内の工業における重要な位置を占めています。

資料：平成 29 年工業統計調査（従業者4人以上の事業所対象）

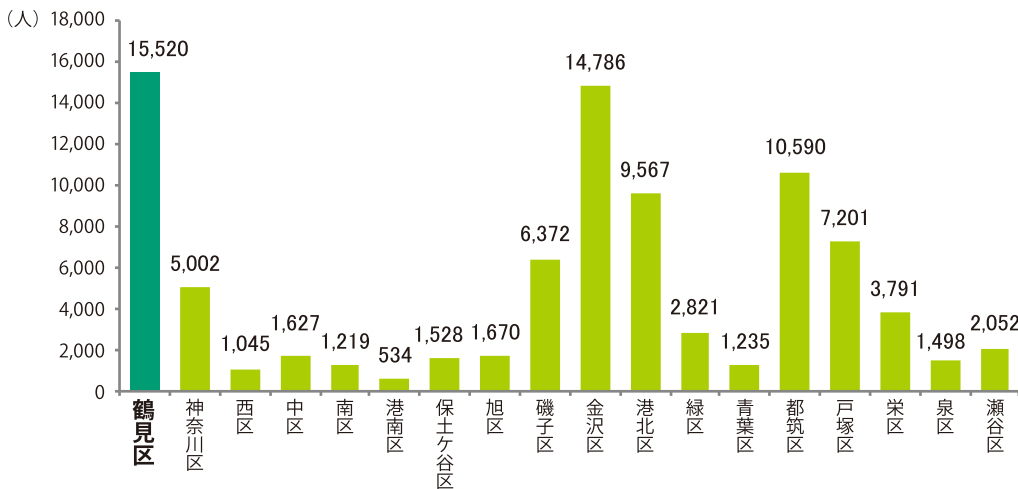
● 区別事業所数



鶴見区内には 345 の事業所があって、港北区、都筑区に続いて3番目に多いよ！



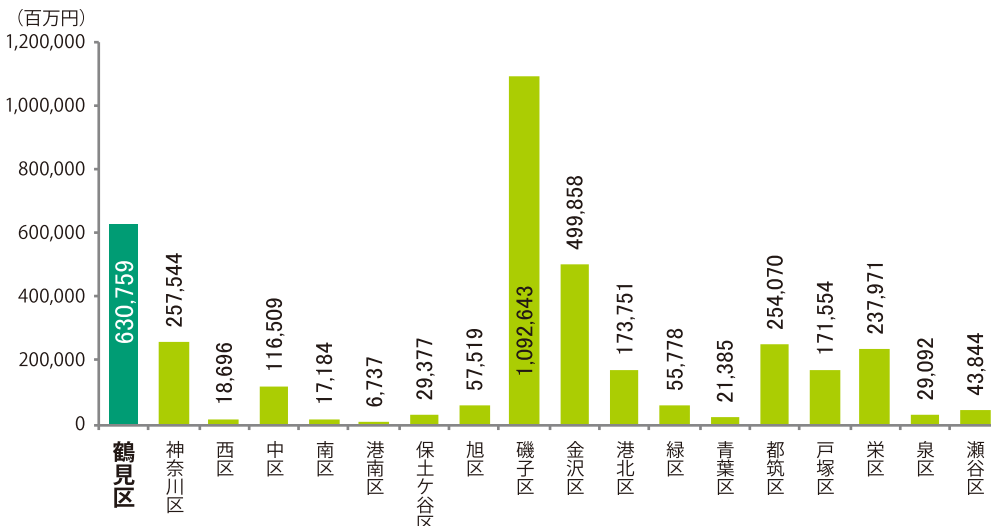
● 区別従業者数



鶴見区の従業者数は 15,520 人で、18 区中、1番多いよ！



● 区別製造品出荷額等



製造品出荷額等については、18区中第2位！鶴見区の製造品出荷額等は、約6,308億円だよ！





1 住宅

● 住宅の建て方別の世帯数 (単位: 世帯)

	鶴見区	横浜市
一戸建	42,120	607,761
長屋建	1,118	23,214
共同住宅	84,899	971,904
その他	237	2,602
合計	128,374	1,605,481

資料: 平成 27 年国勢調査

鶴見区で持ち家に住む一般世帯は 58.6% だよ!



住宅の建て方を見ると、共同住宅が最も多く 84,899 世帯 (住宅に住む一般世帯数に占める割合 66.1%) と約3分の2の世帯が共同住宅に住んでいることとなります。次いで一戸建てが 42,120 世帯 (32.8%) となっています。

共同住宅に住む世帯の割合は、横浜市全体の 60.5% (971,904 世帯) と比べ 5.6 ポイントも上回っています。

COLUMN 区の用途別水道使用量

資料: 水道局及び第97回横浜市統計書

平成 29 年度の鶴見区の水道使用量は、約 2,936 万m³でした。そのうち、公衆浴場用が約 14 万m³で、横浜市全体の公衆浴場用水道使用量 (約 79 万m³) の約 17%を占めています。

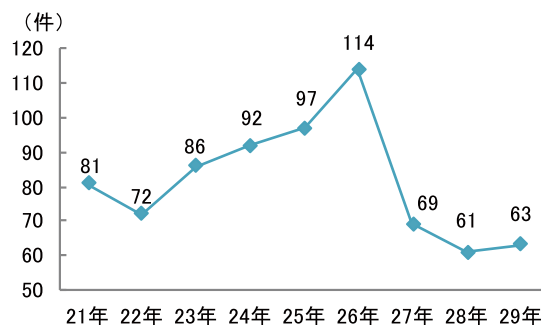
なお、鶴見区の平成 29 年末の公衆浴場数は 31 で、18 区中、中区に次いで2番目の多さとなっています。

2 消防

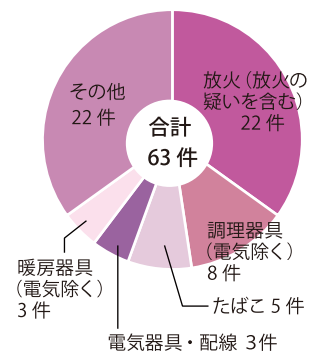
平成 29 年の火災発生件数は 63 件で、前年と比べると 2 件増加しました。火災の原因としては、「放火 (放火の疑いを含む)」が 22 件で一番多く、次いで「調理器具 (電気除く)」が 8 件、「たばこ」が 5 件となっています。

また、平成 29 年の救急車の出動件数は、14,782 件であり、出動理由は、急病が全体の約 67%を占めています。

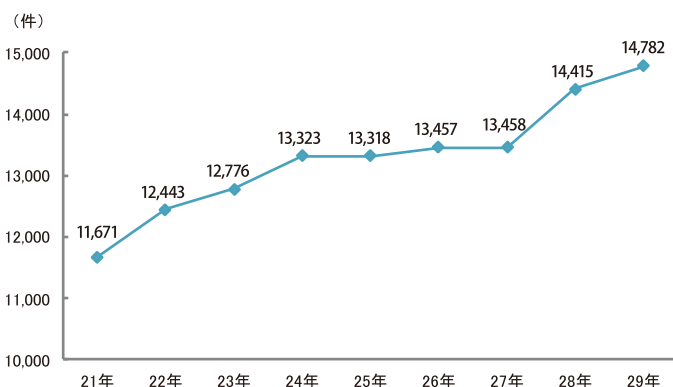
● 火災発生件数の推移



● 火災原因別件数



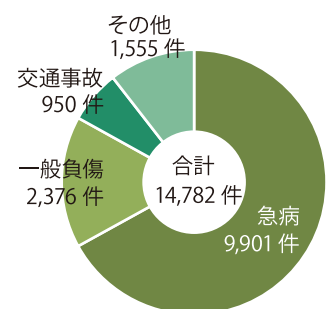
● 救急車出動件数の推移



救急車の出動件数が増え過ぎると、空白地域 (救急車が多数同時出動することで、その地域に救急車がない状態) の増加につながり、傷病者の救命率が低下する恐れがあるよ



● 救急車出動理由

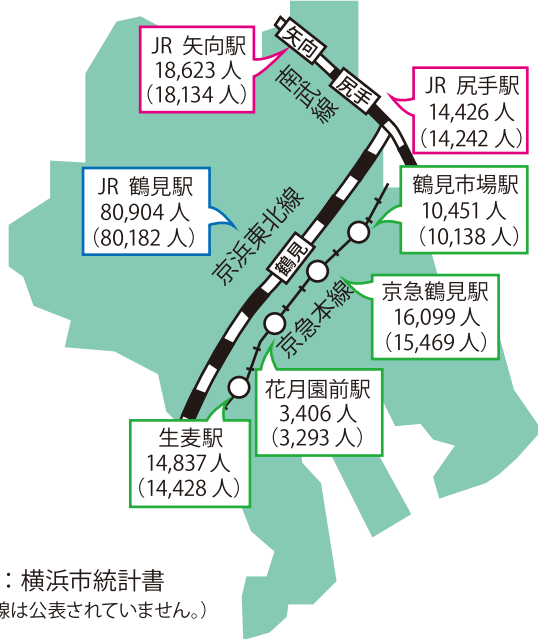


資料: 平成 29 年 鶴見消防署

3 交通

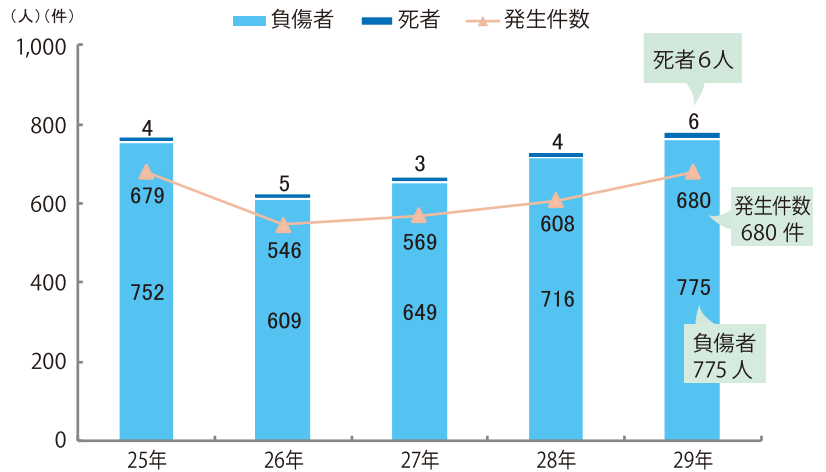
● 区内駅別一日平均乗車人員

平成 29 年度
※() 内は 28 年度



資料：横浜市統計書
(鶴見線は公表されていません。)

● 交通事故発生件数と死者・負傷者の推移



資料：鶴見警察署

平成29年中の交通事故による負傷者は775人、死者は6人でした。また、交通事故発生件数は680件であり、いずれも前年より増加しました。

4 犯罪

● 犯罪(刑法犯)の種類別認知件数 (平成 29 年)

(単位：件)

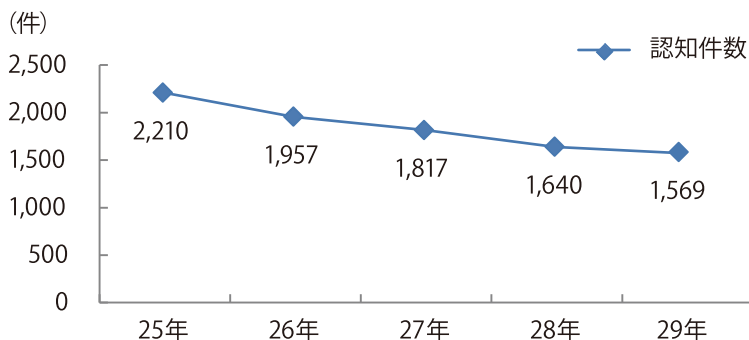
	凶悪犯	粗暴犯	窃盗犯		知能犯	風俗犯	その他の刑法犯	総数
			自転車	その他				
鶴見署	3	109	442	698	111	23	183	1,569
横浜市	109	1,524	4,162	9,944	1,588	391	2,328	20,046

犯罪件数は昨年に比べて71件減少し、横浜市全体では808件減少したよ

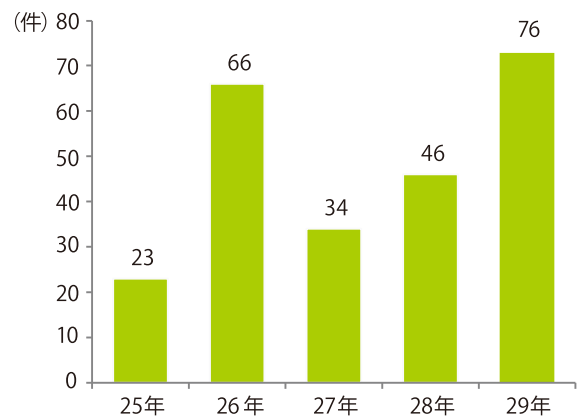


● 犯罪(刑法犯)認知件数の推移

平成29年中の鶴見署の犯罪認知件数は1,569件で、平成25年以降減少を続けています。



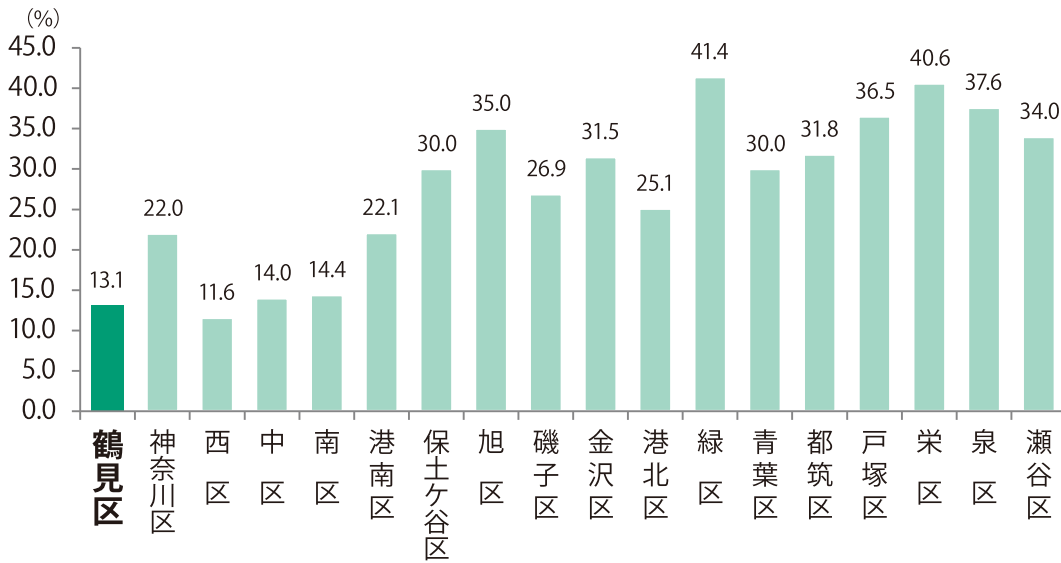
● 振り込め詐欺件数推移



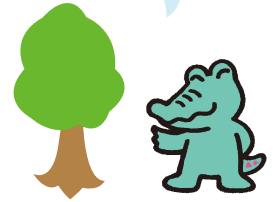
資料：鶴見警察署

5 環境

● 緑被率（平成 26 年調査）

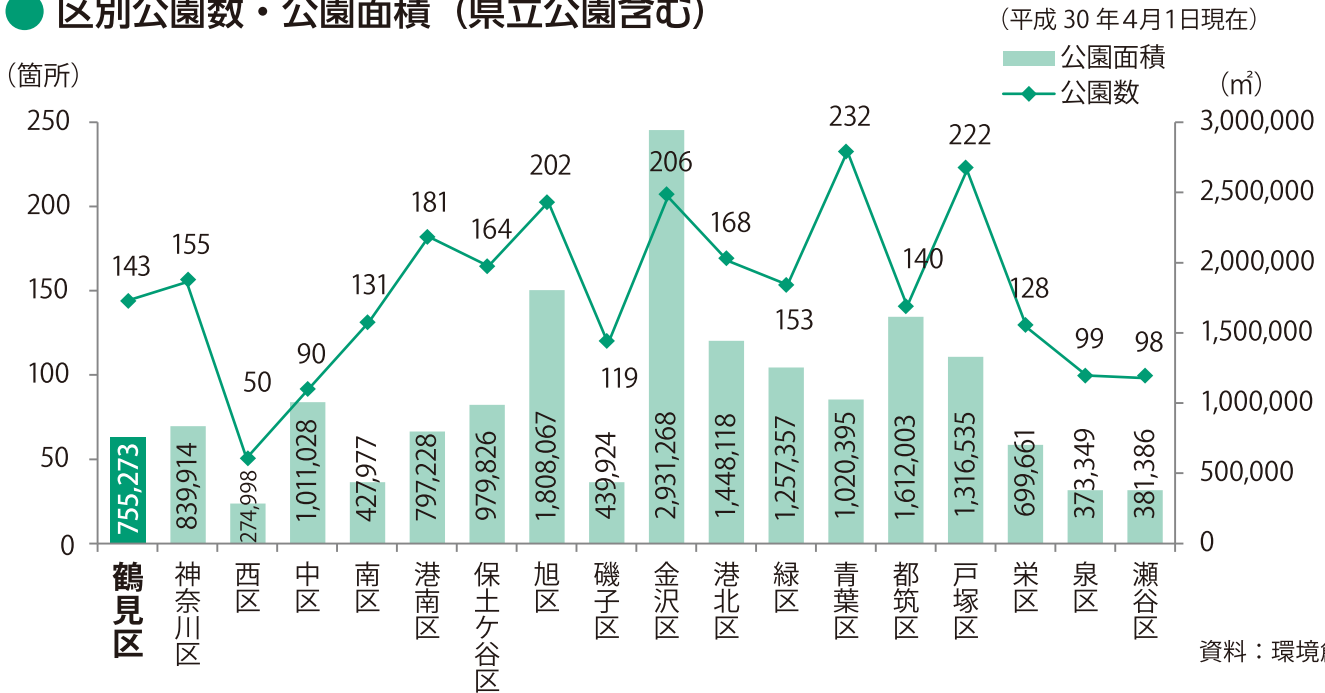


鶴見区の緑被率は、18 区中 17 位です。
鶴見区の緑被率は減少傾向にあります。



資料：横浜市統計書

● 区別公園数・公園面積（県立公園含む）



資料：環境創造局

鶴見区には、平成 30 年 4 月 1 日現在、143 箇所の公園があり、その面積は 755,273 m²となっています。そのうち、県立三ツ池公園が、区内の公園面積の約 4 割を占めています。

COLUMN 鶴見区マスコットはなぜワニなの？

鶴見区マスコットキャラクターの「ワックン」は、区制 60 周年（昭和 62 年）を記念して昭和 63 年 1 月に誕生しました。

ワニが選ばれたのは、鶴見区の形がワニの顔の形に似ていること、「産業の街・鶴見」の力強いイメージにぴったりなことなどが主な理由です。

僕の横顔に似てるでしょ？



※緑色の部分が鶴見区

6 区民フェスティバル

鶴見区では、毎年、春（三ツ池公園（文化・環境）フェスティバル）・夏（鶴見川サマーフェスティバル）・秋（つるみ臨海フェスティバル）の3回、区民フェスティバルを開催しています。それぞれのフェスティバルは、会場周辺の地区連合町内会や地元企業等により組織された実行委員会の企画運営により、開催されています。

● 三ツ池公園（文化・環境）フェスティバル

多数の区民ボランティア参加のもと、ステージでの各団体の発表や、フリーマーケット、中学生ボランティアによる牛乳パックの回収などを通じて、「文化と環境」に関心を持ち、積極的に理解することを目的に開催しています。

また、鶴見区の友好交流都市である、福島県西会津町や棚倉町の特産物の販売なども行われています。

会場 県立三ツ池公園 **実施日** 平成30年5月12日（土）

来場者数 約53,000人



ボランティアによるごみ分別活動

● 鶴見川サマーフェスティバル

区民の“ふるさと意識”を醸成するとともに、住民相互の連帯と親睦を深めることを目的に、多くの区民ボランティアに支えられ、開催しています。

川のイベント（Eボート体験、クルーズ）、模擬店・PRブース、鶴見川ダンス&コンサート、鶴見川花火大会など、1日中楽しめるイベントとなっています。特に、夏の夜空を彩る花火は、鶴見川の夏の風物詩として、区民の皆様に親しまれています。

会場 鶴見川および **実施日** 平成30年8月18日（土）

佃野公園周辺

来場者数 約60,000人



夏の夜空を彩る花火

● つるみ臨海フェスティバル

「鶴見大好き 私のふるさと～みんなで創ろう つるみ臨海部」をテーマとして、臨海部に親しみながら誰もが楽しめるふれあいの場を提供し、子どもから高齢者まで、安心して暮らしていけるあたたかな地域づくりを目的に開催しています。ステージでは、地元団体による楽器演奏やサンバショー等が披露され、出店ブースには、大分県佐伯市鶴見から「寿司トラック」がやってきます。

また、毎年恒例のお楽しみ抽選会も行われ、会場は大いに賑わいます。

会場 入船公園 **実施日** 平成30年10月20日（土）

来場者数 約50,000人



団体によるステージイベント（サンバショー）

この3つ以外にも、区内ではさまざまなお祭りやイベントが行われているよ！



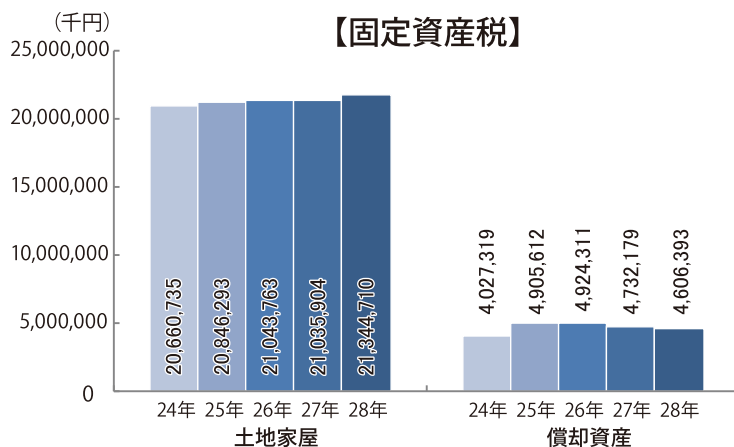
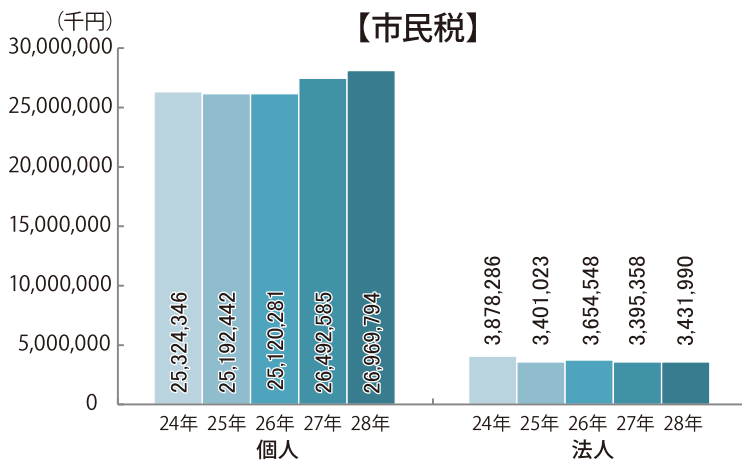
7 市税

横浜市の平成 28 年度の市税収入は、約 7,208 億円で、前年度に比べ約 18 億円の増収。税別では、

- ①「個人市民税」は、給与所得納税者数の増加などにより増収。
- ②「固定資産税（土地家屋）」は、新築家屋の増加などによる増収。

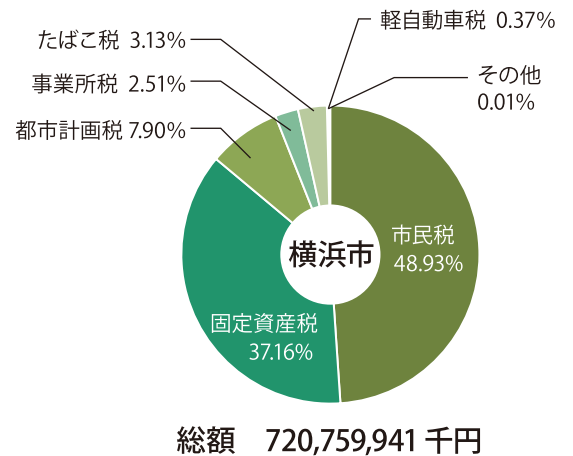
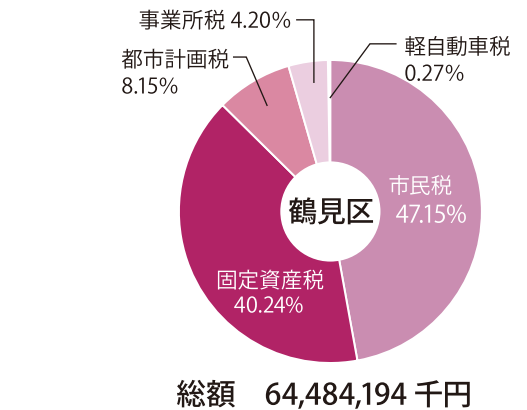
なお、鶴見区の平成 28 年度の市税収入は約 645 億円で、市全体の約 8.95%を占めています。

● 鶴見区税別収入の推移



資料：平成 28 年度市税決算額調

● 市税収入の構成比（平成 28 年度）



資料：平成 28 年度市税決算額調

8 戸籍

● 戸籍数（本籍）（平成 30 年 3 月 31 日現在）

横浜市合計 1,274,932 戸籍 (単位：戸籍)

1位	2位	3位
港北区 107,651	鶴見区 103,268	神奈川区 89,409

● 住民登録世帯数（平成 30 年 3 月 31 日現在）

横浜市合計 1,772,521 世帯 (単位：世帯)

1位	2位	3位
港北区 168,466	鶴見区 144,746	青葉区 133,331

鶴見区の戸籍数（本籍）は平成 30 年 3 月 31 日現在 103,268 戸籍、また、区内に住民登録をしている世帯の数は、144,746 世帯で、それぞれ港北区に次いで 18 区中第 2 位の多さとなっています。

資料：鶴見区戸籍課

前年に比べて、戸籍数、住民登録世帯数ともに増加しているよ！

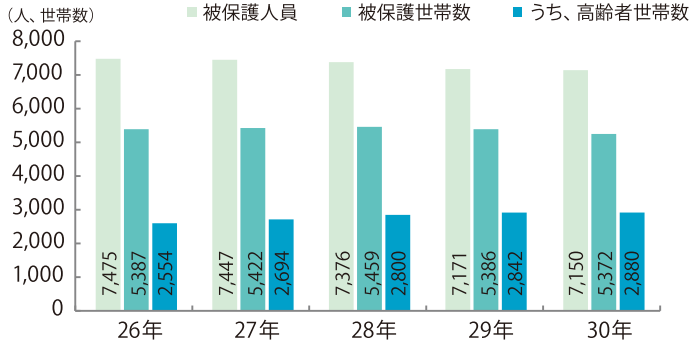


9 生活保護

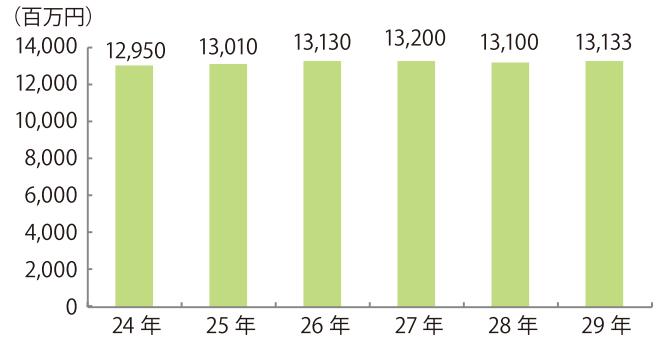
平成 30 年 4 月現在の鶴見区において、生活保護を受給している世帯は 5,372 世帯、人員は 7,150 人で、それぞれ中区、南区に次いで 18 区中 3 位となっています。

最近の鶴見区の動向としては、雇用状況や経済情勢の好転により、被保護者世帯数は横ばいの状態となっています。しかし、高齢化の影響で高齢者世帯（65 歳以上）が増加しています。

● 生活保護人員・世帯数の推移 (各年 4 月現在)



● 生活保護費の推移 (各年度)

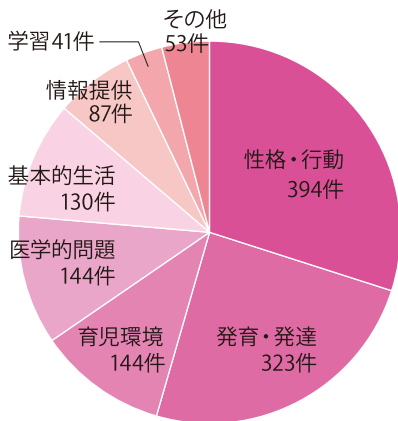


資料：鶴見区生活支援課

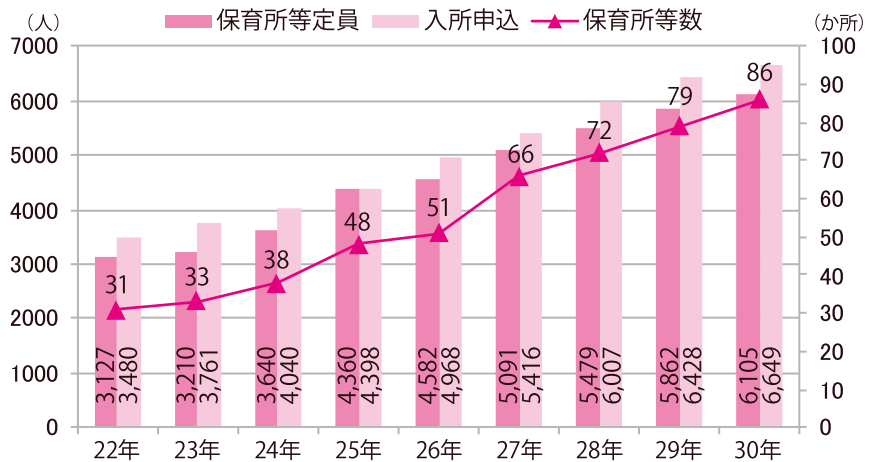
10 子育て

● 子ども家庭支援相談状況

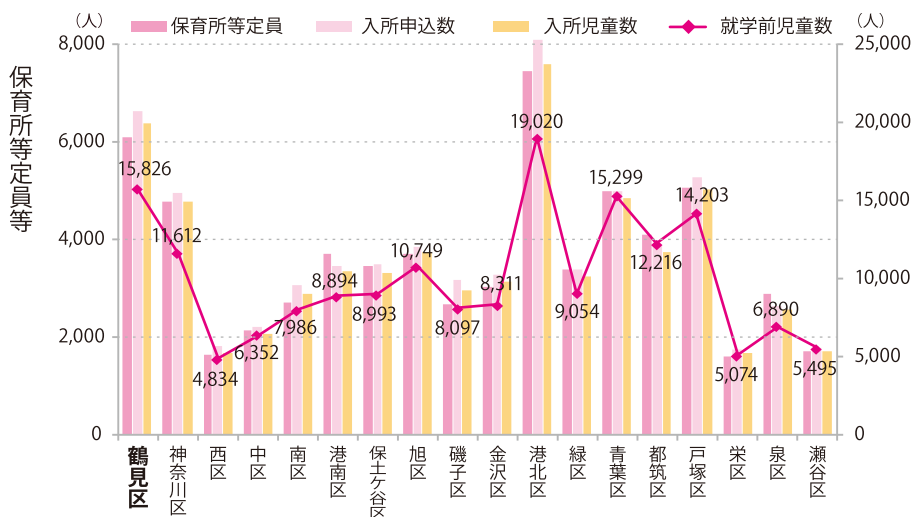
(平成 29 年度延べ件数)



● 鶴見区の保育所等利用状況について (各年 4 月 1 日)



● 18 区の就学前児童数と保育所等の状況 (平成 30 年 4 月 1 日現在)



鶴見区は就学前児童数が 18 区中 2 番目に多く、保育所等の定員数は 2 番目に多い。でも保育所の整備がまだまだ必要な地域もあるよ。



資料：鶴見区子ども家庭支援課

※保育所等：平成 27 年 4 月から保育所・幼保連携型認定子ども園のほか、地域型保育（家庭的保育、小規模保育、事業所内保育）を含む。

● 平均寿命

鶴見区の平均寿命は18区中、男性が15位、女性が17位、平均自立期間は18区中、男性が15位、女性が17位となっています。

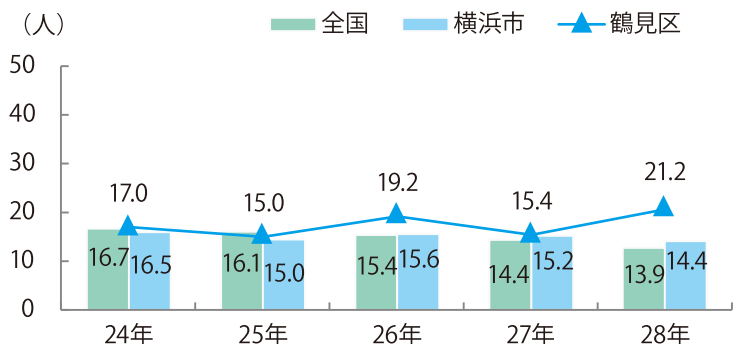
区別生命表(横浜市・18区 平成28年)

	平均寿命		平均自立期間	
	男	女	男	女
横浜市	81.37	87.04	79.61	83.30
鶴見区	80.17	85.84	78.24	81.85
神奈川区	81.57	86.77	79.79	82.89
西区	79.50	85.94	77.85	82.37
中区	78.06	85.88	76.28	81.94
南区	79.18	85.72	77.41	81.83
港南区	81.40	87.08	79.58	83.13
保土ヶ谷区	80.62	86.44	78.82	82.70
旭区	81.37	87.75	79.61	83.74
磯子区	81.13	86.70	79.40	83.18
金沢区	81.70	86.84	80.02	83.34
港北区	82.25	87.61	80.32	83.77
緑区	82.96	87.67	81.08	83.88
青葉区	83.67	88.47	81.91	84.90
都筑区	82.87	88.71	81.10	85.14
戸塚区	82.03	86.90	80.30	83.39
栄区	81.16	87.25	79.76	83.85
泉区	82.38	87.43	80.73	83.88
瀬谷区	80.61	86.84	78.89	83.24

※平均寿命…0歳平均余命
平均自立期間…日常生活に介護を要さない期間の平均

● 結核

鶴見区の結核罹患率は、平成27年は減少しましたが、平成28年は増加しています。



※結核罹患率は、新規結核登録者数を人口10万人に換算した数値

結核の予防には、栄養バランスのとれた食生活、十分な休息、禁煙など健康管理に注意することが大切だよ！咳が2週間以上止まらない、微熱が続く等の症状がある場合は、最寄りの内科・呼吸器科を受診しましょう。



● 主な死因の状況

主な死因は、多い順に、悪性新生物(がん)、心疾患、脳血管疾患となっており、全死因の5割を超えています。

主な死因の死亡数(単位:人)

	全死因	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎	不慮の事故	老衰	自殺	肝疾患	慢性閉塞性肺疾患	腎不全	その他
26年	2,252	686	332	194	193	69	136	43	46	37	44	472
27年	2,241	737	352	168	135	73	165	37	42	34	34	464
28年	2,306	717	351	175	157	89	157	46	39	36	31	508

資料:鶴見区福祉保健課

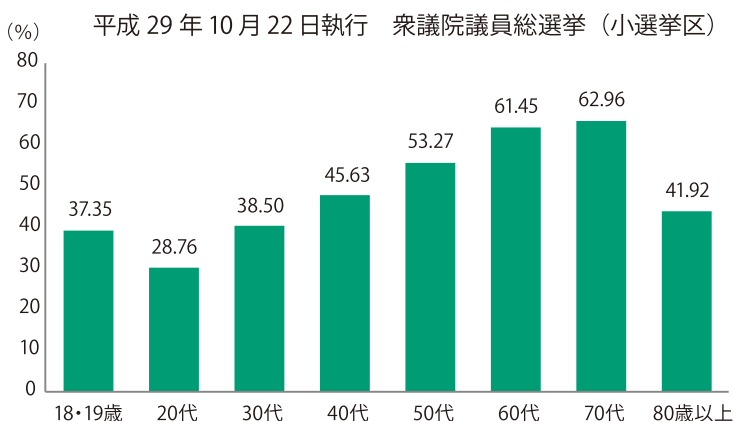
12 選挙

鶴見区の投票率は低迷しており、近年の選挙ではいずれも横浜市平均を下回っています。また、年齢別に投票率をみると、20代の投票率が最も低く、若年層を中心に投票率の向上が課題となっています。

● 最近の投票率

選挙名	選挙日	投票率(%)		18区中順位
		鶴見区	横浜市	
衆議院議員総選挙(小選挙区)	H29.10.22	47.00	51.56	18位
横浜市長選挙	H29.7.30	33.22	37.21	18位
参議院議員通常選挙(選挙区)	H28.7.10	53.11	56.53	17位
統一地方選挙(市会)	H27.4.12	39.79	42.00	15位
衆議院議員総選挙(小選挙区)	H26.12.14	50.03	54.06	17位
横浜市長選挙	H25.8.25	26.25	29.05	18位

● 鶴見区年齢別投票率(在外投票を除く)





COLUMN

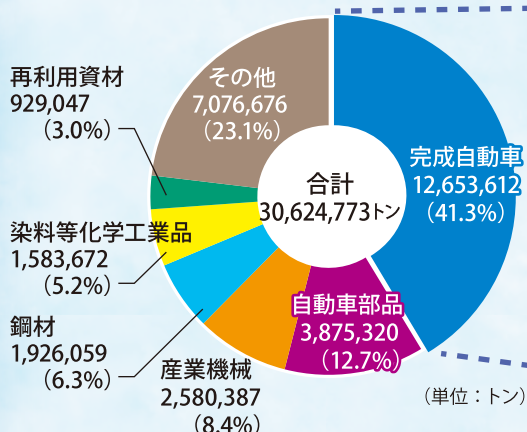
すごいぞ！大黒ふ頭

大黒ふ頭は横浜港の輸出の主力！

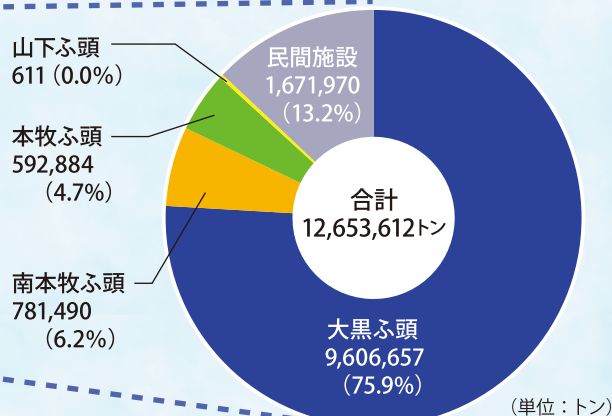
日本の港湾の中で2番目に輸出量が多い横浜港。その横浜港の輸出貨物の4割を占める完成自動車を1番多く輸出しているのは、鶴見区にある大黒ふ頭なんです♪

完成自動車は、主に大黒ふ頭から自動車専用船に載せられて、アメリカ、オーストラリア、中国などの世界各地に向けて輸出されています。

横浜港輸出貨物主要品種別取扱量



横浜港ふ頭別完成自動車輸出量



大黒ふ頭 輸出貨物ランキング

第1位 完成自動車(9,606,657トン) 第2位 産業機械(922,494トン) 第3位 自動車部品(236,258トン)

資料：平成28年横浜港統計年報

大黒ふ頭にある黒いかまぼこの正体は？

～すごいのは完成自動車の輸出だけではありません～

みなさんは、大黒ふ頭に黒くて大きなかまぼこ型の建物があるのはご存知ですか？これは、CIQ施設といって、税関(Customs)・出入国管理(Immigration)・検疫(Quarantine)という出入国に必要な手続きを行うための施設です。

現在、大黒ふ頭では、自動車専用船岸壁の改良に合わせて、ベイブリッジを通過できない超大型客船にも対応できる新たな客船バースの整備が進められており、CIQ施設は超大型客船が寄航した際の手続きを短時間でスムーズに行うことができるように設置されます。2019年春から本格的な運用が始まり、大黒ふ頭に有名な大型クルーズ船が数多く着岸するようになります！



黒いかまぼこ型のCIQ施設は、2019年春にこのような綺麗な建物になります。



2019年のゴールデンウィークには、世界で有名な豪華客船「クイーン・エリザベス」が、大黒ふ頭に着岸するよ！



略年表

年	月	できごと
建久元(1190)	—	源頼朝、上洛 鴨志田十郎、馬場次郎、寺尾太郎、寺尾三郎太郎などが 随行したことが『吾妻鏡』に記されている(平安時代末期)
承久3(1221)	—	承久の乱 戦傷死者の中に潮田四郎太郎、潮田六郎、寺尾又太郎、 寺尾左衛門尉などの名前が『吾妻鏡』に記されている
元弘3(1333)	—	新田義貞挙兵・鶴見合戦おこる
建武元(1334)	—	『松蔭寺古図』作成(室町時代)
永享8頃(1436)	—	諏訪氏が寺尾城を築城
慶長5(1600)	10	関ヶ原の戦い
	6(1601)	—
	16(1611)	—
嘉永6(1853)	6	ペリー来航
安政6(1859)	6	横浜開港(6月2日開港記念日)
文久2(1862)	8	生麦事件おこる
明治5(1872)	9	新橋～横浜間鉄道開通、鶴見駅開業
	22(1889)	—
	4	市制施行(人口116,193人) 市制施行に併せて、鶴見地域に旭村、生見尾村 (後の鶴見町)、町田村(後の潮田町)誕生
	38(1905)	—
	12	品川・神奈川間に京浜電鉄(現京浜急行)開通、鶴 見停留所(現京急鶴見駅)開業
	44(1911)	—
	11	曹洞宗大本山總持寺 鶴見に移転
大正2(1913)	2	浅野総一郎、鶴見海岸の埋立に着手
	3(1914)	—
	5	平岡廣高、日本初の児童遊園地「花月園」を開園
	12(1923)	—
	9	関東大震災発生
	14(1925)	—
	4	鶴見町(旧生見尾村)と潮田町(旧町田村)が合併 鶴見町となる
	15(1926)	—
	3	鶴見線の前身「鶴見臨港鉄道」開通
	11	第一京浜国道(現国道15号)全線開通
昭和2(1927)	4	鶴見町、旭村(現在の鶴見区全域と神奈川区・港 北区の一部)が横浜市に合併
	10	—
	10	横浜市の区制施行により鶴見区(当時の人口62,446 人)誕生(鶴見・神奈川・中・保土ヶ谷・磯子の5区)
	3(1928)	—
	6	横浜市電子安線生麦～金港橋間開通
	18(1943)	—
	7	私鉄鶴見臨港鉄道が国に買収され、国鉄鶴見線 (現JR鶴見線)になる
	20(1945)	—
	4	鶴見の大空襲で12,400余戸焼失
	8	—
	終戦	—
	21(1946)	—
	11	児童遊園地「鶴見花月園」閉園
	25(1950)	—
	5	花月園競輪場開場
	29(1954)	—
	4	三ツ池公園、県立公園に指定
	31(1956)	—
	9	横浜市、政令指定都市に指定
	33(1958)	—
	3	第二京浜国道(現国道1号)全線開通
	9	台風22号で鶴見川氾濫 家屋水没648世帯、 床上浸水14,000戸
	38(1963)	—
	11	国鉄鶴見事故161人死亡
	41(1966)	—
	8	横浜市電生麦線廃止
	42(1967)	—
	5	鶴見川、1級河川に指定
	44(1969)	—
	5	「鶴見会館」開館
	50(1975)	—
	4	獅子ヶ谷市民の森開園
	52(1977)	—
	10	区制50周年 人口237,678人 (『鶴見区史』編纂)
	55(1980)	—
	1	鶴見図書館開館
	12	—
	12	末吉地区センター開館(鶴見区第1号)
	60(1985)	—
	10	鶴見公会堂開館
	61(1986)	—
	3	鶴見駅西口市街地改造事業完了 (本市施行の初の再開発事業)
	62(1987)	—
	10	区制60周年 人口243,751人 (『鶴見の歴史と人々の暮らし』編纂)
	63(1988)	—
	1	鶴見区新総合庁舎完成 鶴見区マスコット「ワックン」制定
	11	—
	11	「横溝屋敷」市指定文化財第1号に指定
平成元(1989)	9	—
	9	ペイブリッジ・スカイウォーク完成
	2(1990)	—
	6	上寺尾小学校コミュニティハウス(鶴見区第1号) 開所
	7	—
	7	大黒ふ頭埋立完成
	3(1991)	—
	2	鶴見区のシンボルマーク制定
	11	—
	11	区民の花(サルビア)決定

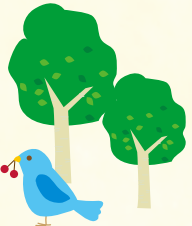
年	月	できごと
平成6(1994)	5	鶴見駅西口行政サービスコーナー設置 潮田交流プラザ(国際学生会館・地区センター・ 地域ケアプラザ(鶴見区第1号)・ふれあいショップ PORT)開館
	12	—
	12	鶴見つばさ橋開通
	7(1995)	—
	4	環境事業局鶴見工場本格稼働
	8(1996)	—
	7	大黒海づり公園開園 高齢者保養研修施設「ふれいゆ」オープン
	9(1997)	—
	5	入江川せせらぎ緑道開通
	10	—
	10	区制70周年 人口250,883人 (『鶴見懐かしの写真集』を編纂)
	区の木(サルスベリ)決定	—
	10(1998)	—
	10	中途障害者地域活動センター「ふれんどーる鶴見」開所
	11(1999)	—
	7	馬場花木園開園
	10	福祉保健活動拠点開設
	12(2000)	—
	4	理化学研究所「横浜研究所」発足
	5	特別養護老人ホーム「新鶴見ホーム」開所
	11	—
	11	障害者地域活動ホーム「幹」開所
	12	—
	12	「馬場赤門公園」開園
	13(2001)	—
	3	「横浜市産学共同研究センター」開設
	4	「横浜市立大学大学院(連携大学院)」開校
	14(2002)	—
	1	福祉保健センター開設
	15(2003)	—
	4	横浜新技術創造館「リーディングベンチャープラ ザ」開館
	16(2004)	—
	4	国道357号線開通
	18(2006)	—
	1	「ゆうづる」(鶴見市場地域ケアプラザ・鶴見市場 コミュニティハウス)開所
	19(2007)	—
	3	東部地域中核病院「済生会横浜市東部病院」開院
	5	—
	5	鶴見中央地域ケアプラザ開所
	10	—
	10	区制80周年 人口267,447人 (『つるみみやげ』発行)
	21(2009)	—
	4	横浜サイエンスフロンティア高等学校開校
	22(2010)	—
	3	花月園競輪場閉園
	11	「鶴見会館」閉館
	12	—
	12	鶴見中央コミュニティハウス開館 鶴見国際交流ラウンジ開館
	23(2011)	—
	3	区民文化センターサルビアホール開館 鶴見駅東口地区第一種市街地再開発事業完了
	24(2012)	—
	1	生麦地域ケアプラザ開所
	4	—
	4	福島県棚倉町、西会津町と友好交流協定書を締結
	11	—
	11	鶴見駅 駅ビル「CIAL鶴見」開業
	25(2013)	—
	2	石川県輪島市と友好交流協定書を締結
	4	—
	4	鶴見駅西口第二自転車駐輪場オープン(1,000台を収容)
	27(2015)	—
	2	馬場地域ケアプラザ開所
	8	—
	8	二ツ池公園一部公開
	11	—
	11	鶴見駅東口駅前広場整備完了
	29(2017)	—
	3	高速横浜環状北線開通
	10	—
	10	区制90周年 人口288,765人(『鶴見みどころ 90』発行)
	30(2018)	—
	4	旧鶴見工業高等学校跡地に特別養護老人ホーム、 聖灯看護専門学校及び下野谷町三丁目公園開設
	4	—
	4	大黒ふ頭CIQ施設整備(I期地区)

COLUMN 江戸時代の鶴見

江戸時代、鶴見の東海道筋は、街道の生麦村、鶴見村、市場村などに人が集まり、神奈川宿と川崎宿の間で「間の宿」として、にぎわいをみせていました。鶴見区域の大部分は幕府の直轄領(天領)で、代官が治めており、旗本領としては、獅子ヶ谷・駒岡・潮田(一時期)などがありました。

また、江戸時代の生麦は「御菜ハヶ浦」の一つとして栄え、新鮮な魚介類を江戸城に献上していました。御菜ハヶ浦とは、江戸城の御菜御着を定期的に献上するほか、各種の船役を勤める見返りとして、現在の東京湾の漁猟に特権を認められていた專業漁業村落のことです。生麦以外には、芝金杉、本芝、品川獵師町、大井御林町、羽田(いずれも現東京都)、神奈川獵師町、新宿(いずれも現神奈川区)の7浦が指定されていました。

つるみマップ ★ TSURUMI MAP



鶴見区には市民利用
施設や見どころが
たくさんあるよ！





発行：鶴見区役所総務課統計選挙係

横浜市鶴見区鶴見中央3-20-1

電話 045-510-1660 FAX 045-510-1889

Eメール tr-toukei@city.yokohama.jp

<http://www.city.yokohama.lg.jp/tsurumi/>

平成30年12月発行